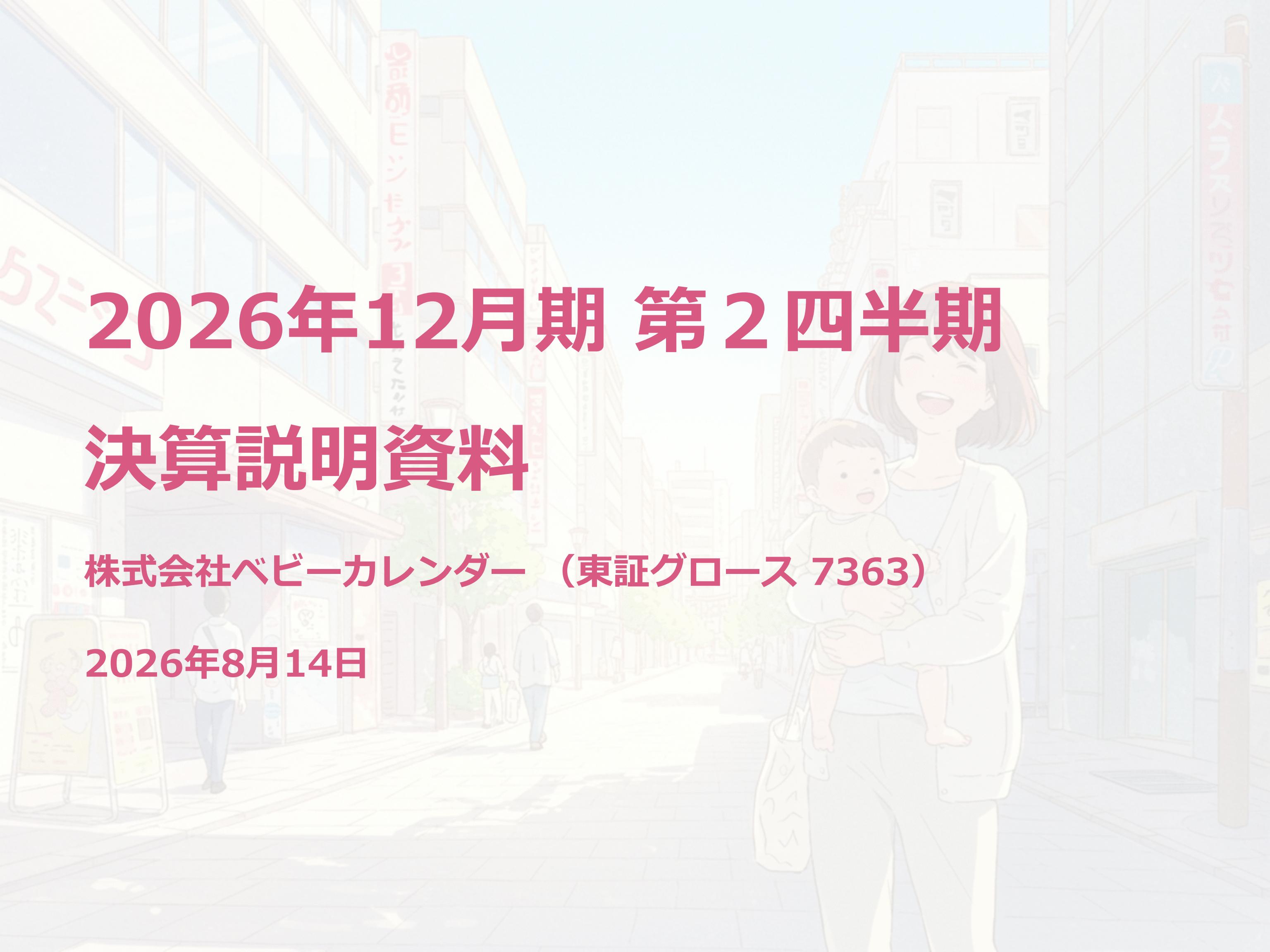


The background is a soft, pastel-colored illustration of a Japanese street scene. On the right, a woman with short brown hair, wearing a light blue cardigan over a white top and grey pants, is smiling and holding a young child with brown hair in a yellow shirt. The child is also smiling. They are walking on a paved sidewalk. In the background, there are several buildings with Japanese signs. One sign on the left says '52ニッ' (52 Nippon). Another sign on a building further back says 'おむろEシンセナ' (Omuro E Shinsenana). On the right, a vertical sign on a pole says 'ハラスワシ' (Harasushi). The overall atmosphere is bright and cheerful.

2026年12月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社ベビーカレンダー （東証グロース 7363）

2026年8月14日

内部統制・ガバナンス強化の進捗

再発防止策の運用を継続し、内部管理体制を強化



修正完了

過年度を含む会計上・開示上の必要な修正は完了



運用継続

再発防止策の運用を継続



照合強化

収益・債権・入金の三者間照合を強化



権限管理

職務分掌、承認権限、IT権限管理等を強化



信頼回復

内部管理体制の強化を通じて企業価値向上に取り組む

2026年12月期 第2四半期決算サマリー

売上高

960百万円

経常利益

77百万円

EBITDA

127百万円

	2025年12月期 第2四半期 (百万円)	2026年12月期 第2四半期 (百万円)	前期比 (%)
売上高	920	960	104%
営業利益	99	81	82%
経常利益	95	77	81%
中間純利益	58	44	76%
EBITDA※	147	127	87%

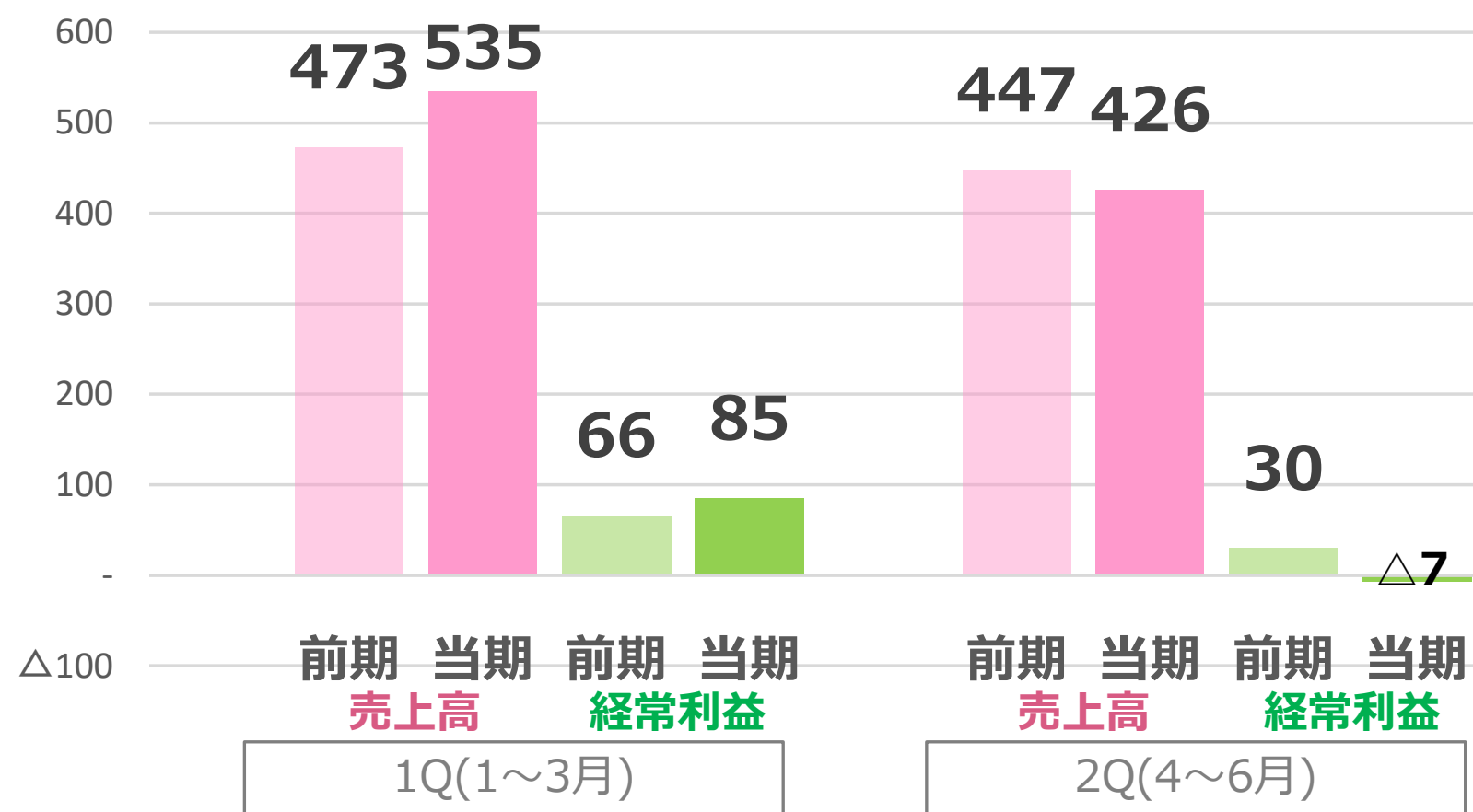
※EBITDAは営業利益＋減価償却費＋のれん償却額で算出しております。

第2四半期（4～6月）決算ハイライト

収益化停止の影響を受け、前年同期比で減収減益

医療法人向け事業は、売上・営業利益とも前年を上回るも、メディア事業において、2026年4月以降に発生した当社が運営する一部のチャンネルにおける収益化停止の影響を受け、売上高は前年に比べ微減、経常利益は36百万円減少

四半期毎の業績



2026年4～6月の業績

売上高

426 百万円

前年増減

△21 百万円

前期比

95%

経常利益

△7 百万円

前年増減

△36 百万円

第2四半期の成長要因

メディア事業の専門家・医師監修広告が好調、
医療法人向け事業も既存サービスが伸長

伸長した領域

- 専門家・医師監修広告
→対前年123%
- タイアップ広告
→対前年129%
- 医療法人向けサービス
→対前年199%

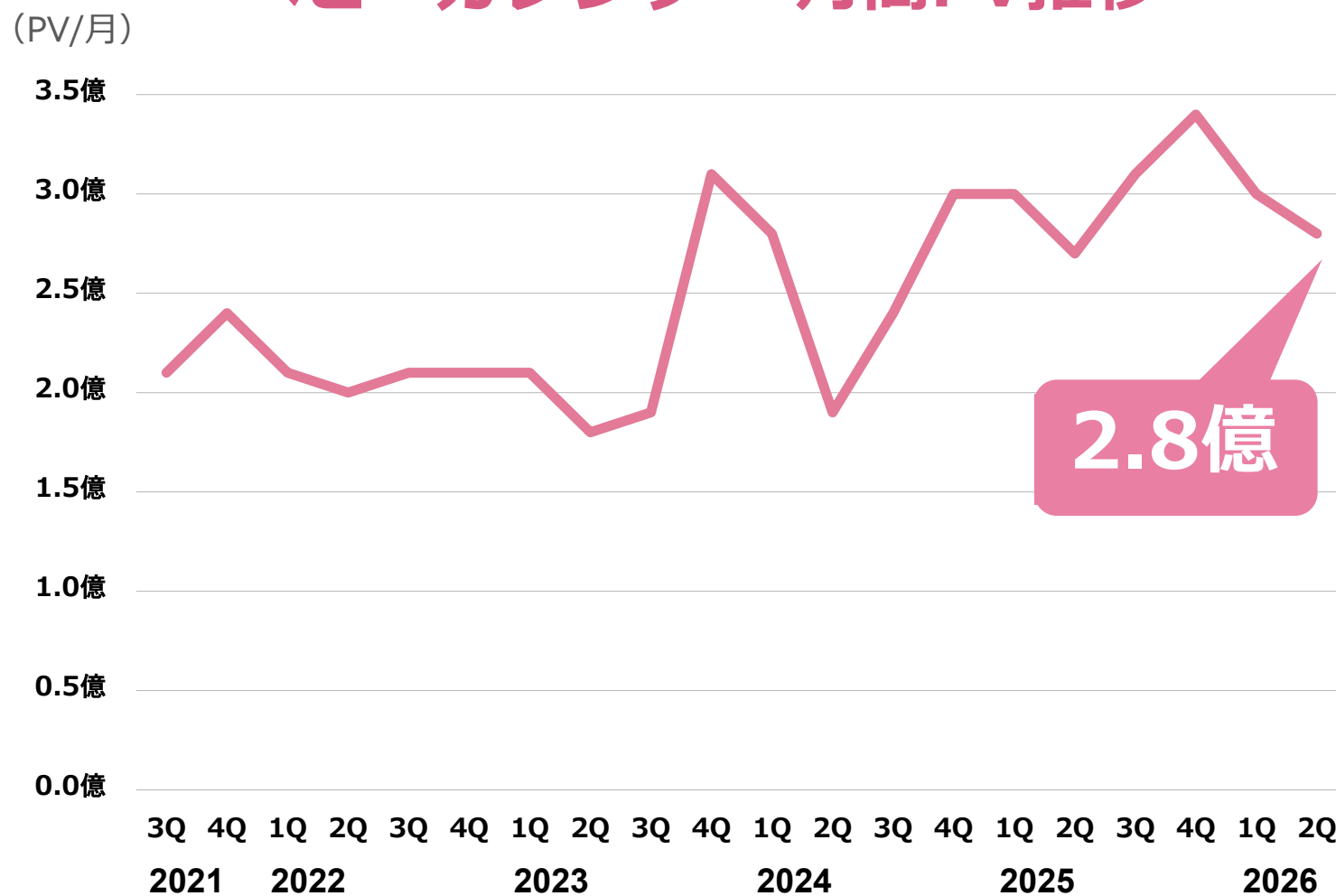
伸びた要因

- 信頼性の高い広告商品をベビーカレンダーブランドで販売することにより需要が堅調
- 新商品を投入したことによる収益拡大
- エコー動画館の新規導入、ベビーパッドの既存継続が好調

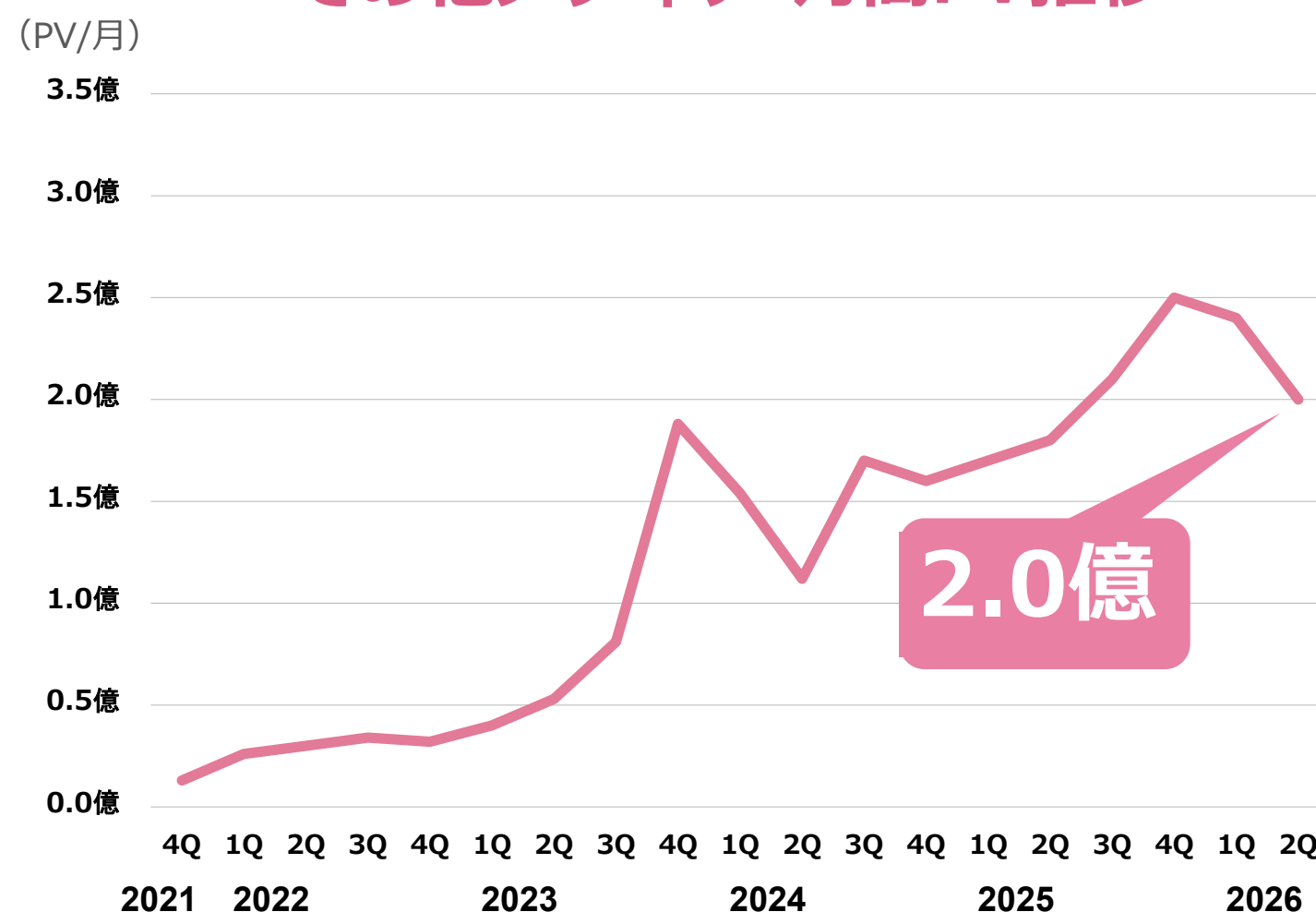
重要KPI (PV数)

ベビーカレンダーとその他メディアともに、好調な数値
(4Q=12月がピークとなるため、当四半期では好調)

ベビーカレンダー 月間PV推移



その他メディア 月間PV推移



ベビーカレンダー



6チャンネル

通期業績予想に対する進捗

第2四半期終了時点では進捗率は順調

